



投資環境

2026年4月17日

IMF世界経済見通しメモ (2026年4月)

■ 中東紛争を受け、世界の成長率見通しを引き下げ

国際通貨基金 (IMF) は4月14日、新たな世界経済見通しを公表しました。

中東での紛争の短期終結を想定 (2026年半ばまでに混乱が落ち着くと想定) した予測では、今年の世界経済成長率予測が3.1%と、1月の予測から0.2%ポイント下方修正されました (図表1、2)。総合インフレ率は2025年の4.1%から2026年は4.4%に上昇すると見込まれています。

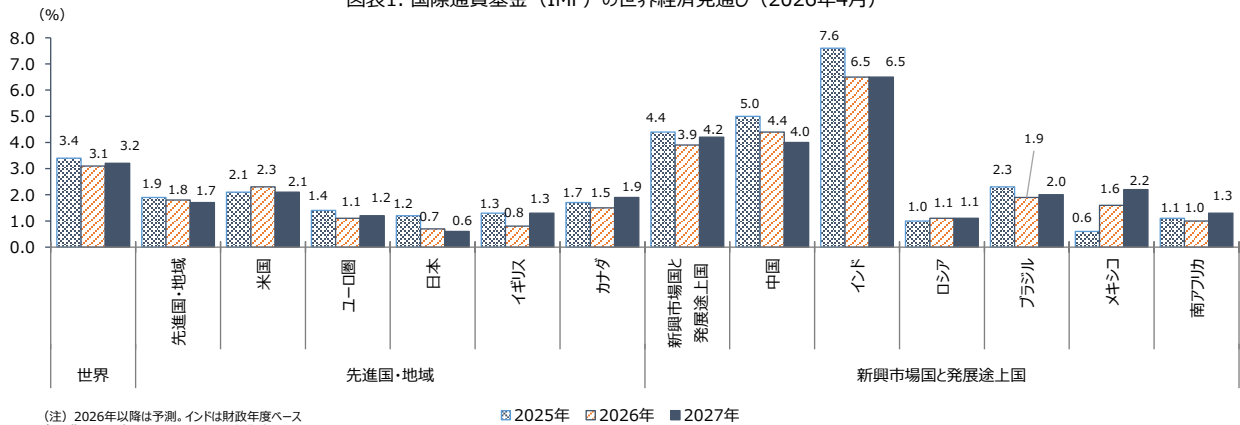
IMFは、「悪化シナリオ」、「深刻シナリオ」も提示しました。「悪化シナリオ」では、紛争が長期化し、原油価格が2026年は100ドル前後、2027年は75ドルで推移すると、世界の成長率は2026年に2.5%に低下すると予測しています。

また、最も見通しが厳しい「深刻シナリオ」では、紛争が長期化、深刻化し、原油価格の大幅な上昇により金融市場に大規模な混乱が生じ、金融環境が引き締まると想定し、世界の成長率が今年と来年に約2%まで減速すると予想しています。

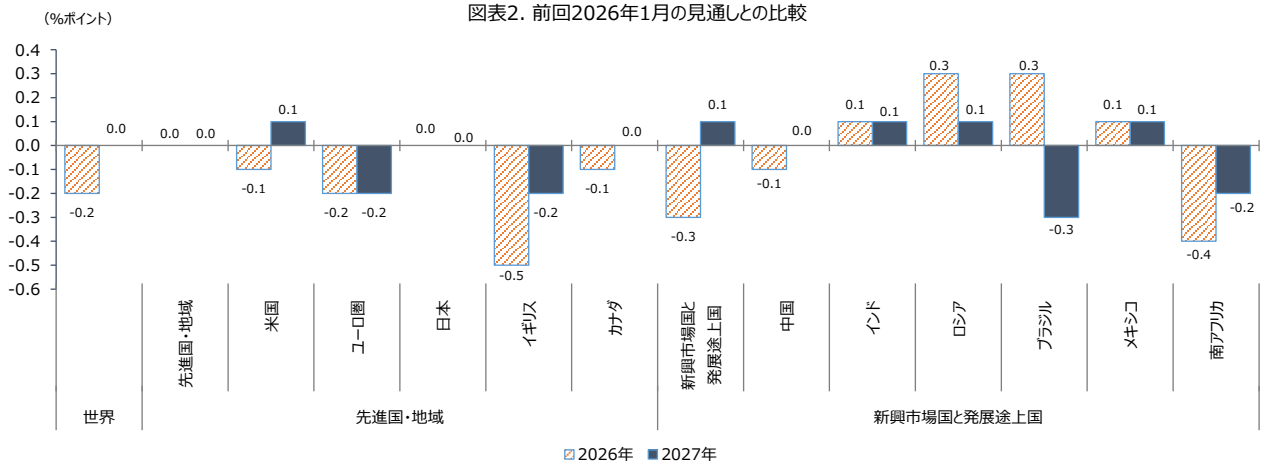
■ 日本の成長見通しは変わらず

米国の成長見通しは、2026年は前回の2.4%から2.3%とわずかな下方修正にとどまりました。2027年は2.0%から2.1%に上方修正されました。ユーロ圏はエネルギー価格の上昇やユーロ高が成長の抑制材料となるとして、2026年、2027年ともに下方修正されました。日本の見通しは変更されませんでした。また、中国の2026年の成長率が下方修正されました。

図表1. 国際通貨基金 (IMF) の世界経済見通し (2026年4月)



図表2. 前回2026年1月の見通しとの比較





しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号

Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人資産運用業協会

〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www. skam. co. jp](https://www.skam.co.jp)

▣ 下振れリスク

見通しにおいては、下振れリスクが支配的で、

- 紛争の長期化や拡大
- 地政学的分断の悪化（米中対立や、米国を中心とするグループと、中国・ロシアを中心とする勢力に世界が分裂する等）
- A I 主導の生産性を取り巻く期待の見直し（金融市場のA I への期待はファンダメンタルズ以上に過熱している可能性があり、価格調整の懸念も）
- 貿易摩擦の再燃

によって、成長が著しく鈍化し、金融市場が不安定化する恐れがある、としています。

また、I M F は金融政策について、「エネルギー価格高騰に対する中央銀行の基本的な政策対応は、インフレ期待が十分に安定している限り、様子見を続けるべき」と提言しました。

(ストラテジスト 鈴木和仁)



しんきんアセットマネジメント投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号

Shinkin Asset Management Co., Ltd. 加入協会／一般社団法人資産運用業協会

〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www. skam. co. jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。

※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

※投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

(お客様に直接ご負担いただく費用)

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)

- ◆ 運用管理費用(信託報酬)・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用(手数料等)の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。